

経営比較分析表（平成29年度決算）

広島県三原市 内港東

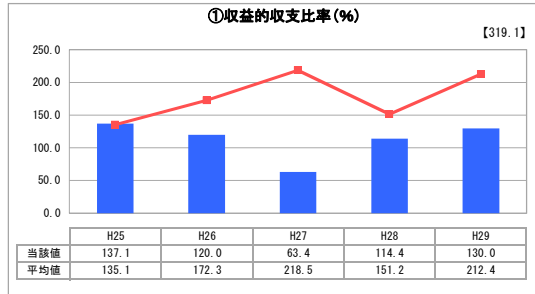
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似施設区分 | 管理者の情報 |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 法非適用 | 駐車場整備事業 | - | A1B1 | 非設置 |
| 自己資本構成比率(%) | 種類 | 構造 | 建設後の経過年数(年) | |
| 該当数値なし | 届出駐車場 | 立体式 | 41 | |

| 立地 | 周辺駐車場の需給実態調査 | 駐車場使用面積(m ²) |
|---------|----------------|--------------------------|
| 駅 | 無 | 4,238 |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入 |
| 170 | 180 | 導入なし |

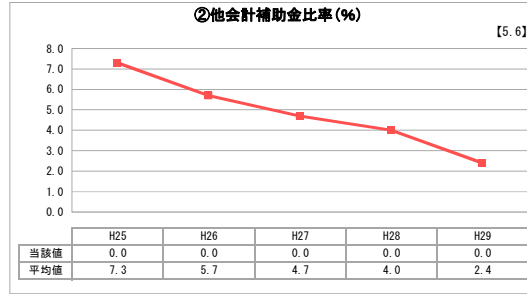
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

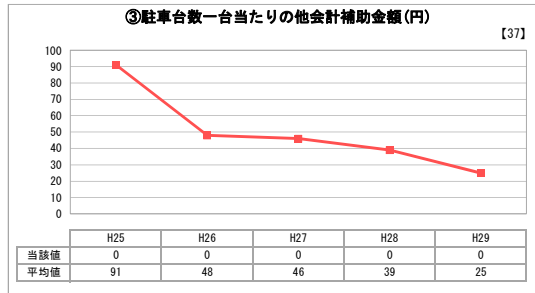
1. 収益等の状況



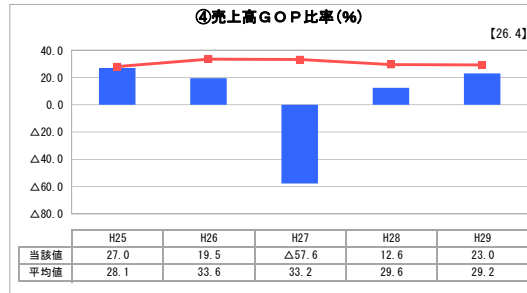
「経営損益」



「他会計補助金割合」

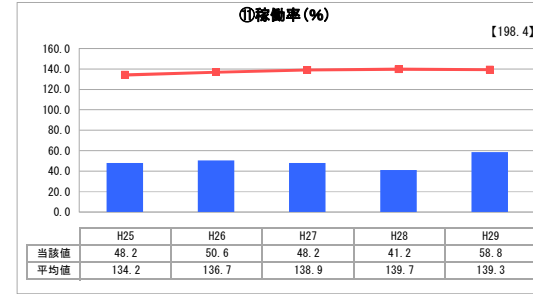


「他会計補助金額」

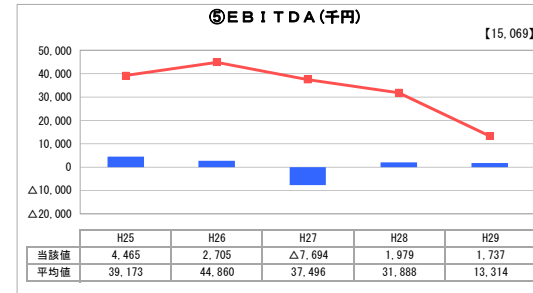


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況

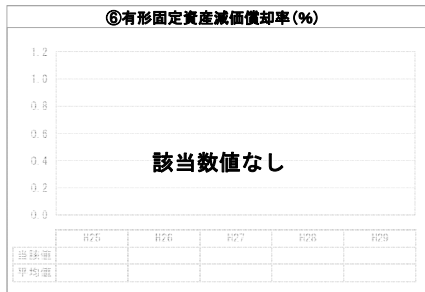


「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

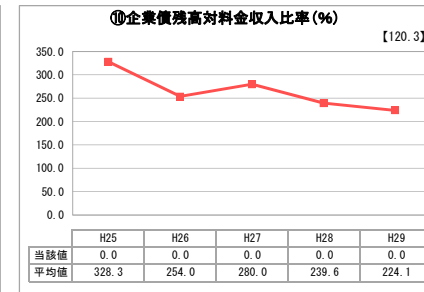
0

⑧設備投資見込額(千円)

0



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ○収益的収支比率及び売上高GOP比率が上昇傾向。
 【要因】
 駐車場使用料が定期利用契約数の増により増加したことによる。(一部事業者用車輛の複数台契約によるもの)
 【今後】
 今後の建物の方針検討を継続しながら、引き続き適正な施設管理に努める。

2. 資産等の状況について
 県有地であるため、⑦の「敷地の地価」は0円となっている。
 建物については老朽化が進み、駐車車輛及び利用者への被害防止のための修繕箇所が増えている。
 土地及び1階部分が県所有である港湾駐車場としての性格をもつこと踏まえ、また今後必要となる設備投資を鑑み、事業継続の考え、建物の建替・改修・廃止・平面化等と比較検討中である。

3. 利用の状況について
 稼働率は経年比較で定期利用の増により増加している。

全体総括
 平成27年度の屋上スロープ改修工事を除いては、収支・利用状況において横ばいである。今後は、港湾駐車場としての性格を踏まえ、老朽化による建物の方針を定める。